

編集後記

■本誌に関するアンケート調査

INPITは、独立行政法人として、公共上の見地から確実に実施されることが必要な事業を行うこととされており、実施する事業の必要性・適切性について継続的に検証することが求められています。

本誌の発行にかかる事業についても例外ではなく、検証のための一つのアプローチとして、本誌に論文を寄稿した経験のある有識者に対して、本誌の内容に関するアンケート調査を実施しました（本年4～5月）。

本誌の今後のあり方を考える上で参考になるご意見やご要望が多数寄せられましたので、その結果の概要を本欄にてご紹介させていただきます。

なお、本アンケート調査は、上述のとおり、本誌に論文を寄稿した経験のある有識者に対して実施されたものですので、広く一般の読者の皆様や知的財産に関与する方々の全体の声を反映したものではありません。

<回答者の内訳>

大学教員 17名、弁理士 2名、団体役員 1名、特許庁職員 1名（合計 21名）

<内容について評価できる点>

- ・INPITという公的・中立的機関が企画編集している点、大所高所からじっくり考察した論文が多い点などは評価できる。
- ・学際的な観点からの研究を含む基礎研究の成果発表の媒体として高く評価できる。
- ・学究的、中立的な内容が多い。
- ・特許庁関係者の論考も多く、行政に携る者の情報発信の場になっており、司法と行政の情報交換の場となっている。
- ・法学、経営学、経済学や学際領域など、知的財産権の観点からの幅広いテーマを扱っているところは異色であり、魅力の一つである。
- ・研究者・実務家双方執筆の最新の文献がバランス良く掲載されている。

<ご意見・ご要望>

- ・他の知財情報誌に比べて知名度が低いのが残念です。
- ・読者が非常に限定されているように思いますので、広く周知を図って欲しいです。そのためにも、知財全般をイメージできるタイトルが望ましいと思います。

- ・INPITの他部門との連携（「特許研究」の掲載論文を研修教材として活用するなど）も考えられます。
- ・他誌との差別化を図るために国際性を強めたらどうでしょうか。
- ・電子版（PDF形式）のテキストデータをコピーできない記事が相当数あると考えられる。執筆者は多く引用されることを望んでいると考えられるので、プロテクトを外して、検索でヒットしやすくし、かつ、引用されるようにした方が良い。
- ・関係法域、キーワード、著作者などの項目により論文を検索できると助かります。

<まとめ>

本誌は、「産業財産権制度に関する研究の重要性をご理解いただくとともに、同制度に関する基礎研究を活発にし、その基盤を整備していくことの一環として、研究に必要な資料の解析・紹介及び研究発表の場の提供を行う」ことを目的として発行しています。

本アンケートでは、本誌の内容が、この目的の趣旨に沿った一定の評価を頂戴していることを確認することができました。その一方、「他の知財情報誌に比べて知名度が低い」「読者が非常に限定されている」とのご指摘も頂戴しました。

INPIT 特許研究室でも、ご指摘の事項は極めて重要と考えており、さらに読者層の拡大を目指してまいります。まずは、当館が提供するeラーニングシステムである、IP ePlat（下記参照）にリンクバナーを設置し、これから知財を学習しようとしている方々にも本誌をご覧いただく機会を増やしていきます。

また、テクニカルではありますが、利用者の利便性向上のため、可能なものについては、PDFテキスト（電子版）のコピー制限を解除する予定です。

読者アンケートは以下のウェブページにも掲載していますので、ご意見やご要望等ございましたら、是非お寄せください。

<https://www.inpit.go.jp/form/0007.html>

■INPIT が提供する新しいeラーニングシステム（IP ePlat）のご紹介

INPITでは、2020年4月1日、旧サービスを一新し、新しいeラーニングシステム「IP ePlat」（アイピーイープラット）をリリースしました。

IP ePlatでは、知財をビジネスに活用するために参考となる教材を提供するとともに、INPITの他の業務（特許情報の提供や各種相談窓口・支援

窓口)とも連携して、より実践的な知財学習、知財人材の育成に貢献してまいります。



<https://ipeplat.inpit.go.jp/Elearning/>

IP ePlat の「IP」は知財を意味し、「e」には、

- ・電子情報：electronic
- ・人材育成：education
- ・知財専門家：expert
- ・知財を活気づける：energize

などの意味を込めました。「Plat」は知財人材育成のためのプラットフォームを表します。

IP ePlat の主な特徴は以下のとおりです。

- ・全ての教材を無料で視聴可能
- ・直観的でユーザーフレンドリーなインターフェイス
- ・ユーザー登録することなくすべての教材が視聴可能（ユーザー登録することにより、教

材の視聴履歴の管理、理解度テストの受講が可能)

- ・教材を分かりやすく分類し、主要な教材については、内容の概説を提供（学習したい教材の検索を容易にし、教材のねらいが明確化されることによって学習効果が高まることを期待）

IP ePlat のリリース以降、各企業での知財研修に対する需要の高まりやテレワークの増加を背景に、IP ePlat の利用機会が増えており、旧サービスの5倍程度まで利用者が増えています。

利用者からは、「今までにないタイプの教材が新鮮だった」「スキマ時間に勉強しやすい」といった教材に関する評価だけでなく、「インターフェイスが分かりやすい」「使い易い」「学習を途中で中断できるのが良い」など、システムについても好評です。

今後も利用者の皆様のご意見等を参考にしつつ、INPIT の他の事業とも連携しながら、教材及びシステムの改善を進めてまいります。(T.N.)

特許研究 PATENT STUDIES No. 70 (September 2020) ©

令和2年9月30日発行

編集・発行 独立行政法人工業所有権情報・研修館 特許研究室

〒105-6008

東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー8階

電話：03-3581-5092 FAX：03-5843-7693

HP (<http://www.inpit.go.jp/index.html>)



印刷所

株式会社 まこと印刷

※落丁・乱丁本はお取り替え致します。